

**2006年「クールビズ」に対応したメンズ商品企画を強化
スタイリッシュアップライトジャケット「美軽ジャケット」
スタイリッシュアップシャツ「美背中シャツ」を開発**

株式会社オンワード樫山(東京都中央区 代表取締役社長 上村 茂)は、2006年の「クールビズ」に対応したメンズ商品企画を強化し、テーラード仕立てで軽さを追求した「スタイリッシュアップライトジャケット(美軽ジャケット)」と、背中をきれいに、スリムに見せる「スタイリッシュアップシャツ(美背中シャツ)」を2006年春夏からメンズ主カブランドで展開し、実需期における話題性の喚起と売上拡大をめざします。

今春夏のメンズマーケットは、政府主導による夏を涼しく過ごすための新しいビジネススタイル「クールビズ」のアナウンスメント効果もあり、ジャケット&カジュアルシャツに代表される新しいビジネスカジュアルスタイルが浸透するとともに、ビジネスマンのファッションへの関心が急速に高まりました。

来春夏においても、「クールビズ」がメンズファッションの大きなムーブメントになると予想され、オフィスカジュアルに相応しい“キレイ目ファッション”や“女性と同様のシルエットへの関心”が一段と高まるものと考えられます。

そこで当社では、2006年春夏のスタイリングの基軸アイテムを「軽量ジャケット」と「シルエットの美しいシャツ」とし、「軽量ジャケット」では、かっちりとした仕立てのテーラードでありながら軽さを追求した「スタイリッシュアップライトジャケット」、「シルエットの美しいシャツ」では、背中がキレイにスリムに見える「スタイリッシュアップシャツ」を新たに開発し、メンズ主カブランド「五大陸」「23区オム」「J.プレス」を中心に展開します。さらにボトムスには、2004年春物より展開している美脚パンツ「スタイリッシュアップパンツ」を加え、「スタイリッシュアップライン フォー クールビズ」としてトータルなスタイル提案を行っていきます。

また「ウォームビズ」同様、クールビズスタイルの専用ホームページ(当社ホームページ内)の開設、クールビズのコーディネートポイントを解説したスタイリングマニュアルの発行、百貨店メンズフロアでのクールビズファッショントークショー、一般企業などに向けたクールビズファッション講座などの販売促進活動を積極的に行っていきます。

■スタイリッシュアップライトジャケット(美軽ジャケット)商品ポイント

「スタイリッシュアップライトジャケット」は独自のパターンと縫製技術を活用し、美しいテーラード仕立てでありながら、軽さを追求した「美軽ジャケット」です。

1.「軽量副資材の開発により、副資材の総重量を50%カット<当社比>」

シルエットや着心地などを損なわずに軽量化するため、副資材(整形などを目的に生地内部に入れる資材)の、新開発のメッシュ状の肩パット、増芯(胸の部分のハリ感を出す内蔵物)、ユキ綿(袖付を立体的にする内蔵物)、裏地などの軽量化を図り、最終的には釦の裏面に削り加工も施すなど、従来品の副資材重量393.3gに対して、「スタイリッシュアップライトジャケット」は185.0gと副資材を50%カットすることに成功しました(綿100%の表生地を使用したジャケットの総重量対比で約40%の軽量<当社比>)。

2.「3D芯地による立体感」

熱に対して特殊な動き(アーチ形状)をする糸を使用した3D(3次元)接着芯(アイロンで押さえるだけで接着する芯地)を衿と前身頃の芯地に使用することにより、美しいラペル(下衿)ロール、立体的な胸のボリュームを実現しました。(特許出願中)

3.「ゴージマニプレーションによる前肩量の確保」

前肩に空間を確保する縫製テクニック(ゴージマニプレーション)によって、肩にゆとりを持たせ、首への負担の軽減を図り、運動機能の向上を図ります。(特許出願中)

■スタイリッシュアップシャツ(美背中シャツ)商品ポイント

「スタイリッシュアップシャツ」は独自のパターンと縫製技術を活用した、背中をきれいに、スリムに見せるシャツです(資料参照)。また、クールビズ対応として、吸水速乾カットソー素材、新開発

の吸水速乾対応芯地などを使用し、機能性に優れたシャツも提案します。

1.「背中のダーツを長く取る」

肩甲骨の下あたりから裾に向かってダーツを長めにとることによって、腰部のもたつきをなくし、立体的ですっきりとしたシルエットをつくる。

2.「アームホールを小さくする」

アームホールを小さく、袖幅を細くすることで腕を長くみせる。

2.「胸元を開けても着られるバランスの良い前身頃釦位置の設定」

衿のハネを立体的にし、前身頃の第一釦をバランスの良い位置に設定。

4.「着丈を短く設定する」

裾を外に出しても着られる着丈設定にする。

スタイリッシュアップシャツ 商品ポイント



(1)「背中のダーツを長く取る」



(2)「アームホールを小さくし、袖幅を細くする」



(3) 「胸元を開けてもバランスの良い衿位置の設定」

(4) 「着丈を短く設定する」

[▲ページTOPへ](#)

(C) Copyright 2007-2015 ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.